

会員数(55・10現在)

逗子地区(156名)

葉山地区(224名)

大船地区(65名)

合計(445名)

吟道月報

認定 日本詩吟学院学風会 認可
発行 神奈川 碩心会

55・10月

第99号

発行者

根岸 岳 萃
編 集
中村 愛 岳
杉 山 雪 風

私の詩吟

一色支部B 行 谷 佳山

諸先輩の吟にまつわる発表文、
毎号興味深く拝読させて頂いてお
ります。それぞれ深い感銘を動機
に入門されたようですが、私のそ
れは余りにもお粗末でお恥しい次
オです。なまたま町内会長研修の
旅先で、佐久間先生の「やっ、てみ
ませんか、健康に良いですよ」の
一言ぞした。元来音楽好きで吟も
又、その様なものと思ひ込み早速
入門させて頂きました。始めの頃
は先生も酷しくされなかつたし、
そんなに難しいとは思いませんで
した。又何れの詩も一寸見には同
レパターンの繰返しの様に見受け
られるのに、いざ教わってみると
少レづつ異っており、総べての詩

は先生に教わらなければ吟じられな
いのが不思議でなりません。た
それというのも私にはブラスバンド
の経験があり、器楽は楽符があれば
一応は独習も可能だからです。でも
詩吟は一般的な音楽とは、可成異質
なものである事がたんだん解ってき
ました。
翻って吟歴既に五年、吟道は益々
険しさを増し歩み遅々として進まず
一声、二節、三品と云われるこの道
は、何れも及ぶべくもなほ遙か遠き
彼岸にあり、徒に至らざるを歎くの
みの昨今ですが、吟の仲間に加えて
頂いた許りに、多くの知己、友人に
巡り合えた事は何よりも得難い大き
な収穫でした。師と仰ぐ立派な方、

名人芸を披露される大先輩、気の合う幾人かの同僚、談ずれば自ずと吟談に花が咲き、其の益くるを知らず、私にとって吟道とは、正に老の生き甲斐を見つけたりと感謝してゐる次オです。

未熟ながら既に上限に達した私如きは、徒に遠大な願望に執着する事なく、自らを達観すれば気も軽く、楽しく吟道に精進できるのではなからうか。又時折上層部の云われる「私」の精神にも連繫するのではなからうか。吟を楽しむ！何と優雅な風情ではなからうか。これがこれからの私の詩吟であり、タイトルを敢えて「私」とした所以でもあります。

企画部だより

◎水戸方面へ観梅と

史蹟見学のバス旅行



企画部では次の計画で吟行会を行なうべく目下具体策を練っております。(常任理事会決定済み)日時が確定した段階で詳細参加の

方法等をお知らせいたします。

日 時：五十六年三月中旬頃

のりもの：往復とも観光バス利用

経 路：逗子発―東北自動車道―袋田温泉

観光ホテル(一泊)

歸 路：袋田温泉―水戸偕樂園、弘道館―

西山荘等市内―佐原―首都高速―

横浜―逗子。

概 算：一人あたり二万円の見込

見学のわらわ：偕樂園の観梅と史蹟見学、大合吟

の実施

其の他：往復車中の吟と民謡、歌謡等の旅

(袋田温泉における歌と踊等(会員

発表)その他色々考えています。

目下、日時の確定ができなはのは三月の春季査定審査日とのかねあひからですのでこの

点がきまれば直ちに実施の詳細が発表できる

と思ひます、乞御期待。

企画部長 千葉 香 岳

出合い……私本先生

元町支部 矢島青山

人との出合い、それが人生に色々なドラマを生む。昨今は詩吟が大変流行している。お店のお客様の中にも詩吟に熱中されていらっしゃる方も数人いらっしゃる。私もすすめられたが中々決心つかず、ところが数年前「ふるさとふるば」の舞台で初めて詩舞をみた。そしてその吟者の名前を見た時に私の胸は高鳴った。何故か！私にもよく分らなかつた。それから数ヶ月後私詩吟をやってみようと決心した。私の心を動かしたその吟者は私の親友（同級生）の兄さんで顔は知っていたがお付合はなかつた。だがふとした事から親交を深めた。

温厚で知性に富み熱意と理解ある人物。私はすっかり「ホレタ」。その吟者こそ、現在元町支部の指導者秋元梁風先生存り。支部の若い者も先生の人柄を高く評価している。宇も絵も吟も奥にうまいなかなかの器用人。酒が入るとくどくなるが、ユーモアあり奥に面

合ハそんな先生が好きだ。

一時健康を害されたがもって生れた精神力ですっかり健康体になられ安心した。若い先短ハ人生に光明と楽しみを与えてくれた先生との巡り合ハを大切にしたい。詩吟を通して声を出す事によって若さと明るさと健康を得てこれからも益々張り切ろう。決して無理せずあせらずマイペース、マイペース。

終りに友であり師である秋元先生いつまでも健康で頑心金の為に益力されん事を切望いたします。

秋の句より



川沿いにつかず離れず曼珠沙華 爽風
 裏庭の紫苑も母も夕園に 桂風
 登さがり音なくはじけ鳳仙花 愛風(武藤)
 露座佛の伏目もさ々に翺雲 康山
 ニつ三つ青柿のまた今日も落ち 愛岳
 赤とんぼまた子に追われ午後の空 昌山

● 第36回 神奈川吟道大会終る

右大会が十月五日(倉)横浜市南公会堂で行われ盛會に終わりました。当碩心会から左記の通り出吟(逸)があり、参加の皆様御苦勞様でした。

独吟…和歌・押してみよ 広瀬翔風

合吟…芳野に遊ぶ 浅沼典風他

立体吟…箱根路(舞) 長野淑風

佐藤湧風 (吟) 沼田光岳

大石春風

…春日懷古(舞) 千葉香岳 (吟) 千葉剣岳

…^掃しらたまの (吟) 中村愛岳 (吟) 加藤圭岳

合吟…辞 世 矢島悦風他

吟詠…楠公三丁に別る図 小森香山

合吟…神 州 黒崎李風他

… 九月十三夜陣中作 森田曉風他

独吟…神 州 下條亮岳

合吟…爾靈山 小峯桜岳他

独吟…月夜独座 (県常任理事) 加藤秀岳

… 楠 公 (県総務理事) 根岸岳萃

病床日記の御一読のすゝめ 内藤寅治着

堀内支部Dの内藤治山さんが、さきに半身不随となり入院されましたが、持前の精神力で敢然と病気に挑戦、見事に再起を果されました。この程その闘病の詳細に亘る貴重な記録をまとめ出版(非売)され、贈呈をうけ、一読したところ、深い感銘をうけました。皆さんにもぜひ御一読をおすすめしたく、内藤さんにもその旨伝えましたところ、御希望の方には贈呈したいとのことでした。御希望の方は広報部中村(75-1550)迄、御連絡を。

(一人) 八云

(逗子支部) 鈴木文子 鎌倉市御成町一六(電)0467-2104一六

() 渋谷寿子 浄明寺(電)0467-2303一一

() 秋元節子 六三三三(電)0467-2316四三

(堀内支部) 上村ツマ 栗山町堀内十一(電)0468-7533九七

() 矢島昌子 〇〇五一(電)0468-7550八六

(退) 八云

132 佐藤秀山